

大田区自立支援協議会 令和5・6年度 第6回地域生活部会議事録

文責：渡邊 優美（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 令和5・6年度 第6回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和6年1月23日(火) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階 多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	伊藤 朋春	山根 聖子	小松代 菜央	小野 英次郎
	大場 貴弘	定森 由香	渡邊 優美	渡邊 晃嗣
	青山 明子	平井 有希子	広瀬 健次郎	松浦 好美
	橋本 朋子			
	区事務局：土岐 齋藤 鈴木			
(5) 内容・要旨	<p>1 議題</p> <p>(1) 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠確認 ・研修会のお知らせ ・司会：伊藤部会長、書記：渡邊（優）委員 <p>(2) 第6回運営会議報告</p> <p>(3) 令和5・6年度の活動について 地域生活部会アンケート「福祉情報の収集の方法について」の結果のまとめと課題の整理。</p> <p>①紙媒体とデジタル媒体について →紙媒体とデジタル媒体の両方が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら情報を得ることが難しい方にとっては、紙媒体はデジタル媒体に比べると、情報を得やすい方法だと思われる。情報を得ることで、支援内容について新たに知ったり、周囲の人からのサポートにつながっていく可能性等がある。 ・紙媒体とデジタル媒体の融合（区報にQRコードを載せる等） <p>②情報を得る支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこからも情報を得られない人、十分な情報が得られない人がいる。情報を必要としているのに得られないのか、必要としていないのか。 →誰もが情報を得られるようにするにはどうすればよいか。 ・「人」を介した情報発信、働きかけについて考えていく。 ・デジタル媒体で情報を得るための支援（機器の使い方等）が必要。 ・代読アプリ等、誰もが情報を得られる方法の周知 ・区のHP・SNS等の発信についての周知 <p>③今回のアンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問、量的に答えやすいという声が多かった。 <p>(4) その他</p>			

◎今後のスケジュール

作業部会 2月6日(火)は中止

専門部会 2月20日(火)

- ・ 2月8日頃 部会長PP作成→事務局→委員
- ・ 2月20日 部会で検討し必要に応じて修正
- ・ 3月6日 中間発表